

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年11月28日

計画の名称	幸田町における広域的水環境向上													
計画の期間	平成31年度 ～ 令和05年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	幸田町													
計画の目標	下水道整備を行うことにより施設の有効利用、効率化を行うことにより維持管理費の抑制を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		730	A	730	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31	R3	R5
1	下水道処理人口普及率を72%（H29年度末）から79%（R5年度末）に増加させる。			
	下水道処理人口普及率	72%	73%	79%
	下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）×100			

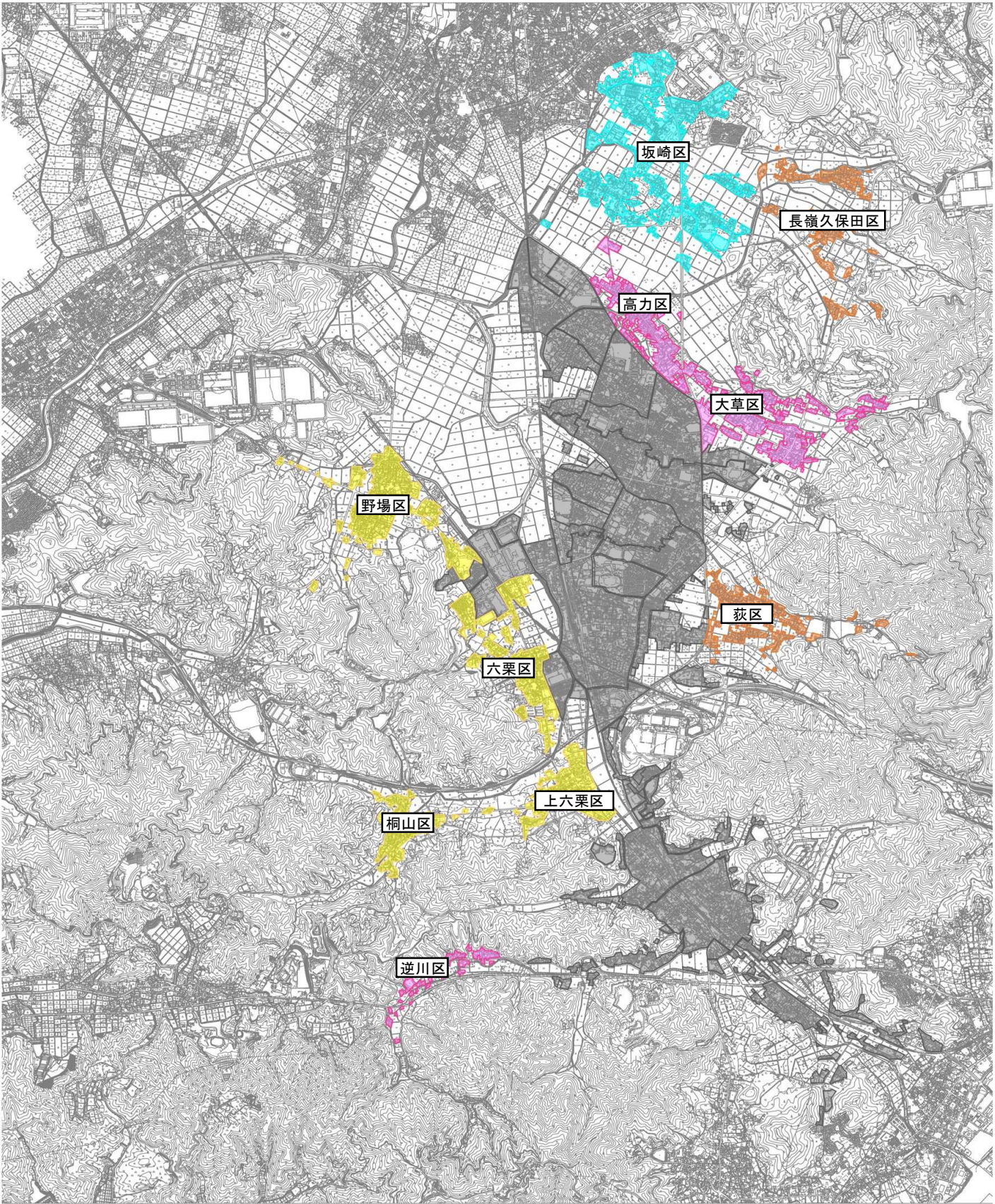
備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

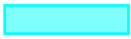
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	幸田町	直接	幸田町	管渠（ 污水）	新設	污水管整備 公共下水道 区域	污水管 L=1900m	幸田町	■	■	■	■	■	730		—	
											小計						730			
											合計						730			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
幸田町で実施	令和 5 年度終了後（令和 6 年度）
	公表の方法
	幸田町のホームページに記載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道整備を行った結果、農業集落排水区域であった逆川区・高力区・大草区が公共下水道に接続され、また、坂崎区・荻区の工事が進捗した。これにより、一部の農業集落排水施設の廃止と既設下水道施設の有効利用による汚水処理の効率化がなされ、広域的な維持管理費の抑制が進んだ。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
荻区ほか、農業集落排水区の公共下水道接続を進めていく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）×100		
	最 終 目 標 値	79%	
	最 終 実 績 値	79%	

計画の名称	幸田町における広域的水環境向上		
計画の期間	平成31年度～令和 5 年度	交付対象	幸田町



凡例	
	H30年度以前施工区域
	R1～5年度接続区域
	R6年度接続区域
	R7年度接続予定区域
	R8年度以降接続予定区域